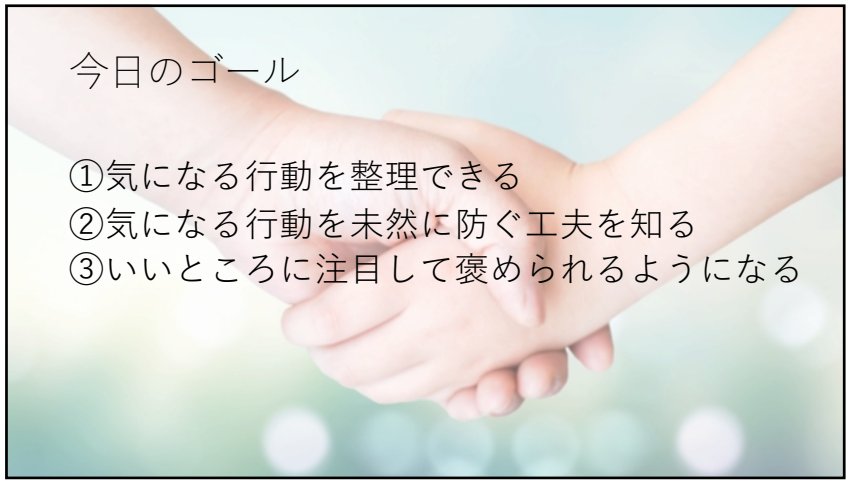
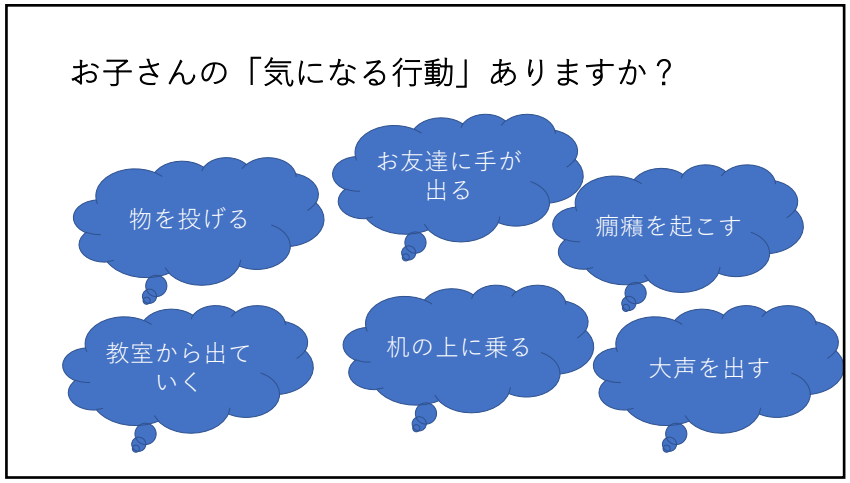
江戸川区発達相談・支援センター
第一回親支援講座
ADDS
子どもの「気になる行動」を
成長につなげる工夫
令和7年5月26日
特定非営利活動法人ADDS
共同代表　竹内 弓乃

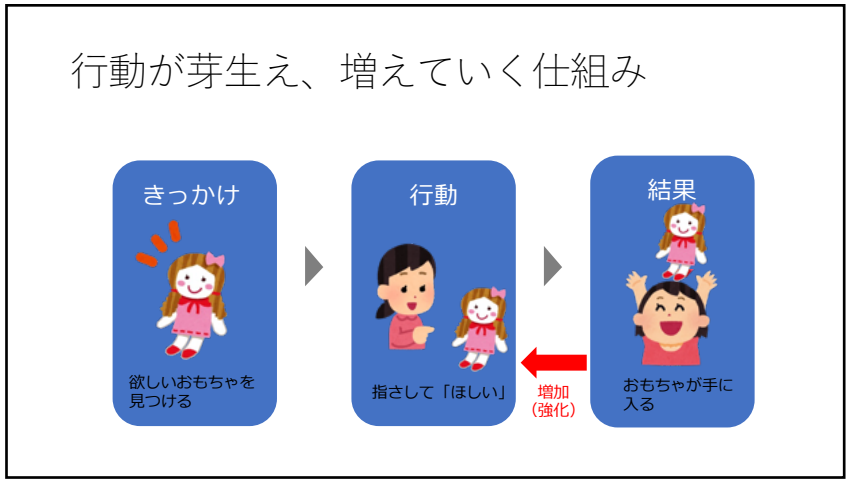
1


今日のゴール
①気になる行動を整理できる
②気になる行動を未然に防ぐ工夫を知る
③いいところに注目して褒められるようになる

2


お子さんの「気になる行動」ありますか？
物を投げる
お友達に手が出る
癇癪を起こす
教室から出ていく
机の上に乗る
大声を出す

3


行動が芽生え、増えていく仕組み
きっかけ
欲しいおもちゃを見つける
行動
指さして「ほしい」
増加（強化）
結果
おもちゃが手に入る

4

行動が芽生え、増えていく仕組み

5

●自閉スペクトラム症は36人に1人※1
●発達障害の可能性のある児童8.8%の割合で通常学級に在籍※2

その症状のあらわれ方は、
個人差が大きく、個に合わせた支援が必要

先天的な脳の機能のちがい
生まれてからの環境や育て方のせいでなるものではない

でも、これからどう関わるか？で
その発達状況は大きく変わる！

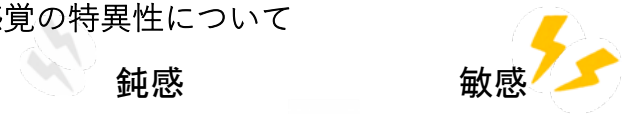
※1　2023年　米疾病管理予防局（ Centers for Disease Control and Prevention; CDC ）による調査
※2　2022年　文部科学省「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」

6

National Autistic Society　https://www.autism.org.uk/get-involved/campaign.aspx
“Can you make it to the end?” https://www.youtube.com/watch?v=aPknwW8mPAM
「自閉症－学ぶ機会を逸してきた子どもたち」
https://news.yahoo.co.jp/byline/takeuchiyuno/20161013-00063202/

7

感覚の特異性について



鈍感		敏感
読み飛ばしが多い キャッチボールが苦手	視覚	フラッシュなどが苦手 電気がまぶしい
ケガをしても気づかない 距離がつかめず近すぎる	触覚	服の素材などにこだわる くすぐりを嫌がる
名前を呼ばれても 気づかない	聴覚	大きな音が苦手 ざわざわした場所が苦手

8

①想像力を持って子どもと関わる
②個々の特徴に合った目標設定と教え方

例：ダメと言っているのに何度も繰り返す。
✖言うことを聞かない困った子！
〇なぜだめなのか、どうすればいいかわからないのかも。実はこの子も困っているのかな・・・

9

「気になる行動」＝「行動上の問題」とは？

◆特定の「行動」が問題というわけではない。
◆いつ、誰にとって、なぜ、「困った」行動なのか？
◆なぜ、対処が必要なのか？

「困った行動」の分析・対処の前提

◆困った行動を「やめさせる」よりも、替わりとなる適切な行動を増やすことに注目する。
◆原則として、それが起きないようにすることが大切。

10

Step 1
行動の機能を分析

Step 2
プロアクティブな対応

Step 3
新しい行動を教える
チャンスに！

11

例題

3歳の息子は、今ボタンを押すのが大好きで、家でも暇さえあれば部屋の電気のスイッチを点けたり消したりします。「やめなさい」と止めに行くと、その時は止めますが、すぐにまたやりたくなるようです。
お散歩の時も、インターホンを見つけると一目散に駆け出し、知らない家のインターホンを押してしまうので本当に困っています。叱っても聞いていないようで、何度も繰り返してしまいます。

12

Step 1
行動の機能を分析

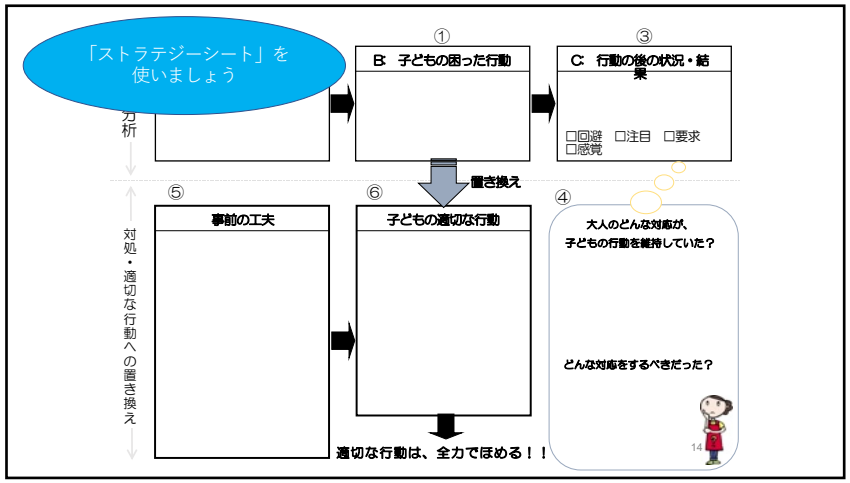
- 子どもの行動について「行動の前の状況→困った行動→もたらされた結果」の3つの枠組みで記述し、その機能を分析する

  ＝機能分析、ABC分析

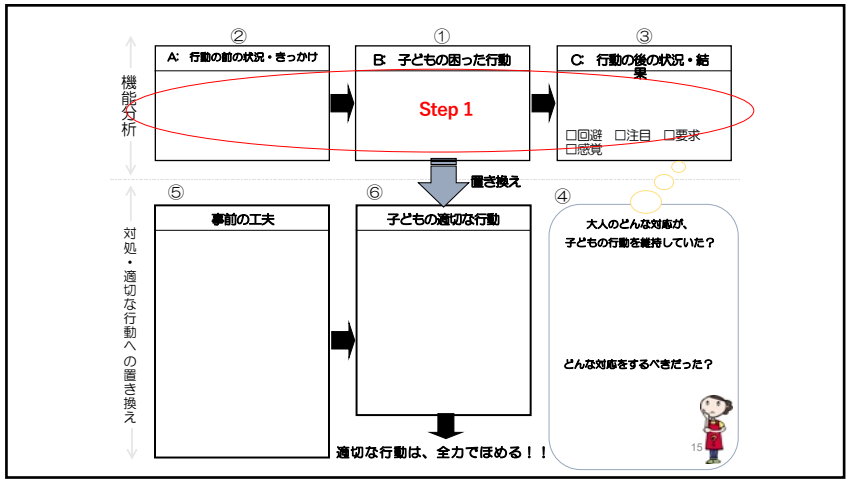
- 正確な分析をするには、実際には1～2週間程度、特定の行動について直接観察して記録をつける必要。

Antecedent	Behavior	Consequence
行動の手がかりやきっかけ	子どもの困った行動	行動の後の対応や結果

13



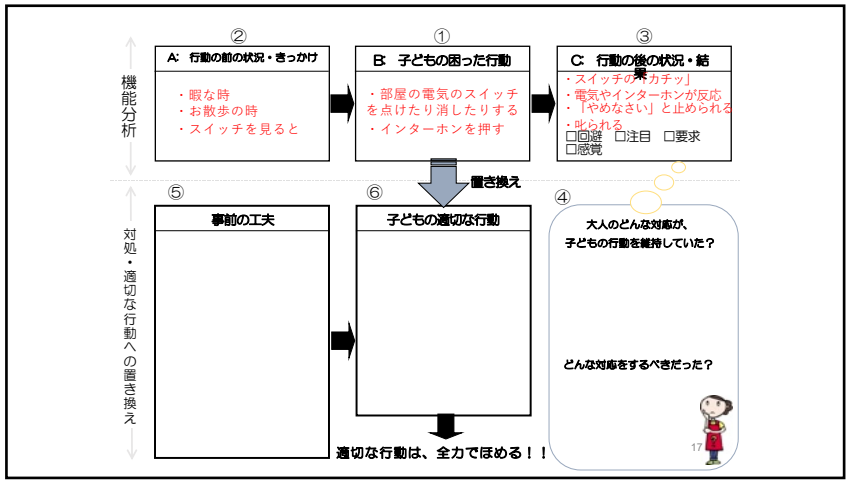
14



15

- 「困った行動」を具体的に。
  - ✓ 子どもの行動は、「～しない」と記述しない。「～する」、または「～しないで～する」と記述する。
  - ✓ 抽象的でなく、何をしているかを具体的に記述する。
    （例：×「パニックになる」、○「床に寝そべって大声をあげる」）
- 「行動の前の状況・きっかけ」を具体的に記入
- 「行動の後の状況・結果」を具体的に記入

16



17

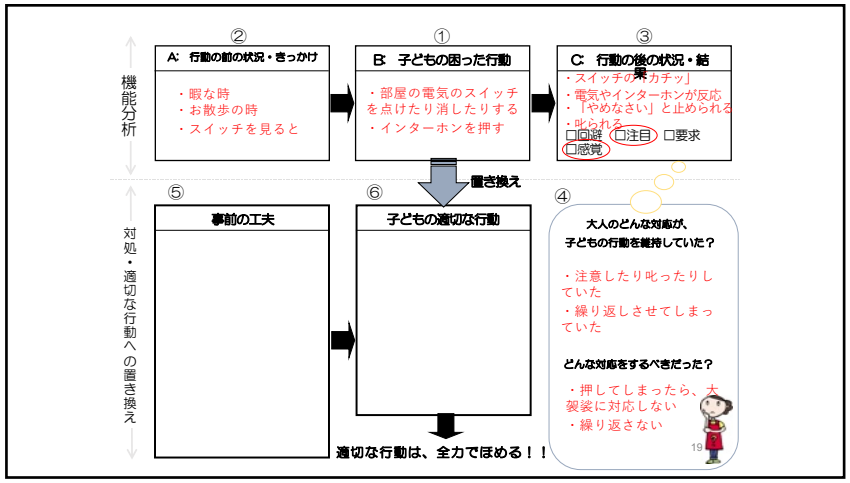
機能ごとの対処

機能を分析し、仮説を立てて維持要因を明らかになったら、
機能ごとに対応します

機能	働き	意味	対処・注意点
回避	嫌な状況や活動をしなくて良い、避けることができる	「やりたくない」 「わからない」 「おしまいにしよう」	回避できてしまうとその行動は増えるので、手伝っても良いから完遂してもらうのが望ましいが、難しいことが多い
注目	周囲の人の注目や関わりを得ることができる	「見て！」 「こっち来て！」 「構って！」	大袈裟に注目するとその行動は増えるので、なるべく注目しない
要求	欲しい物や状況が得られる、子供にとって望ましいことが起きる	「ちょうだい！」 「～したい！」	欲しいものが手に入ってしまうとその行動は増えるので、なるべく望ましい行動を引き出してから叶える
感覚	感覚や刺激そのものが心地よい	刺激そのものが気持ちいい、楽しい	その行動が起こるだけで、既に強化されているので、できる限りその場で止める

※行動が激しい場合には、お子さんがクールダウンしてから対応しましょう。
※自傷・他害などの危険な行動はすぐに止めましょう。

18

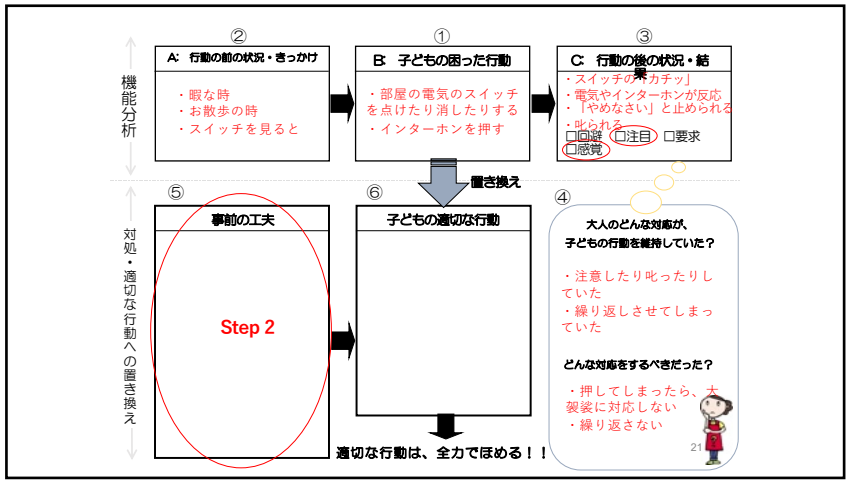


19

Step 2
プロアクティブな対応
（困った行動が起きにくい事前の工夫）

Reactiveな対応は効果が出にくい
（受身的、場当たり的）
Proactiveな対応で「未然に防ぐ」
（自発的、将来に備える）

20



21

事前の工夫のポイント

①困った行動が起きにくい

②適切な行動が起きやすい

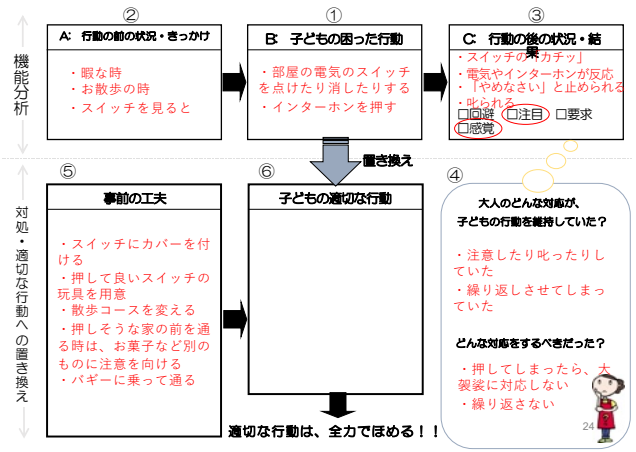
より具体的に、できるだけ沢山考えることが重要。

22

事前の工夫のヒント

- ●物理的環境の整備
- ●動機づけの見直し
- ●課題や要求水準の見直し
- ●教材や働きかけを工夫

23



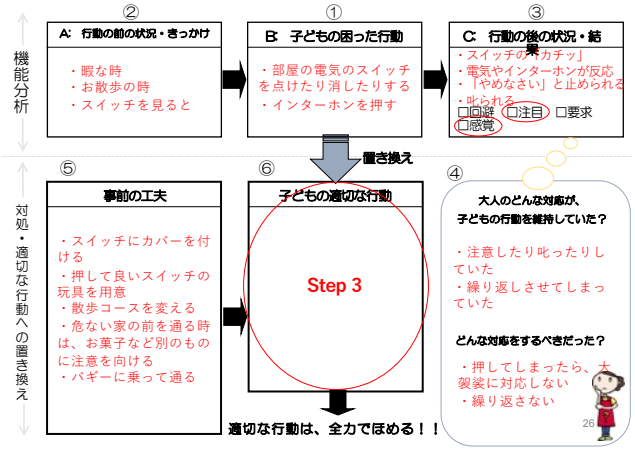
24

Step 3
新しい行動を教えるチャンスに！

適切な行動を教えることで・・・・

➢子どもが“叱られない”だけでなく、ほめられたり、みとめられるチャンスが増える。
➢発達の可能性が広がる
➢より社会的な活動のレパートリーが増える

25



26

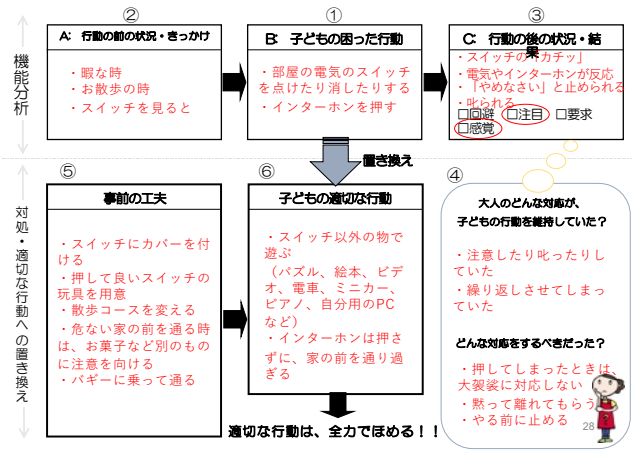
置き換わる適切な行動を決めるポイント！

●「困った行動」と両立しない行動
例：課題中、つめを噛んでしまう→手をお膝に置く
　　言葉や歌による自己刺激→簡単な言葉を真似する

●「困った行動」と同じ機能の行動
例：難しい課題の時に泣き叫んでしまう→「手伝って」と言う
　　休み時間に、好きなお友達を叩いてしまう→「あそぼう」と言う

●子どもが簡単にできる行動で、場面に沿う行動
例：電車の中で暇な時騒いでしまう→イヤフォンで好きな音楽を聴く
　　絵本読みの時間に走り回る→椅子に座り好きなパズルをして待つ

27



28

行動が芽生え、増えていく仕組み

29

すぐ褒める（強化）

すぐ褒める（＝強化）とは？

・子どもの好ましい行動の後すぐ（0.5秒以内）に、褒め言葉やご褒美、ハイタッチなどあらゆる方法で子どもを褒めること

★子どもが褒められていると感じられることがポイント！

すぐ褒める（＝強化）の効果

・「次もやってみたい！」という気持ちを引き出す→次の行動に繋がる

・達成感、自己効力感、安心感（これで大丈夫）を得られる

30

お手伝い（プロンプト）

お手伝い（＝プロンプト）とは？

・子どもの望ましい行動が成功するように手助けをすること

・手をガイドする方法、指差しで伝える方法、言葉で伝える方法などがある

お手伝い（＝プロンプト）の効果

・「やってみよう！」と思ったことが成功で終わるので、次の行動に繋がる
・成功で終わるので、取り組み自体を褒めることができる

★お手伝いは必要最小限で行い、徐々に減らしていくことが大切！
→やがてはお手伝い無しでできるようになる

31

モデリング（やってみせる）

モデリングとは？

・子どもがすると良い動作を、大人が先にやってみせる

・子どもが必ず模倣してくれなくても、見せるだけでもOK

モデリングの効果

・言葉で言われるだけよりも、実際に見るほうが伝わりやすいことは多い
・子どもの遊びや興味を広げてあげることができる
・子どもの「模倣」を引き出すことができる

★もし子どもが模倣してくれたら、しっかり褒める（＝強化する）

32

Step 1
行動の機能を分析

Step 2
プロアクティブな対応

Step 3
新しい行動を教える
チャンスに！

33

事例に挑戦してみましょう！

34

情報を収集しましょう

＊人、物、時間、場所など具体的な事実のみ収集

①行動が起きるきっかけや直前の状況、時間帯など

②具体的にどのような行動か、頻度、強度

③行動の後に、周囲がどう対応するか、環境がどう変わるか

④適切に過ごしている時間、行動

Copyright 2010 ADDS. All rights reserved.

35

事例①

うちの子どもは、よく物を投げます。
最初は電車が動かないことにイライラして、投げていましたが、最近はブロックや絵本なども一人で遊んでいるかと思って放っておくと、気がついたら投げています。
投げたときは、子どもの近くに行って「だめ！投げないよ。当たったら危ないでしょ！」と厳しく注意しています。そのときはやめますが、また一人で遊び始めてすぐに、おもちゃを投げてしまいます。
幼稚園でも固い物を投げてしまうこともあり、危険なのでやめさせたいです。

36

事例②

うちの子は好きなことを中断されると大きな声で泣いてパニックになってしまいます。
この前は、お出かけしたデパートのキッズスペースで機嫌良く遊んでいたのですが、「帰るから、おしまいだよ」というと、大泣きされてしまいました。
家でも、子どもがビデオを見ていて、キリのいいところで止めて「そろそろ寝る時間だから歯磨きしてね」と言ったとたん「イヤー！！」と言われ、また泣かれてもと思ったので、結局最後までビデオを見せてから、歯磨きをさせました。
どうすれば、イヤとか泣かずに切り替えることができるのでしょうか？

37

事例③

食事が終わると、もっと食べたいようで、妹や親のご飯も取ろうとします。「ダメだよ」と声をかけると席を立ちますが、食卓の周囲を回り、常に狙っています。いつも最終的に取られて終わることが多いです。取れずに皆の食事が終わった時は、怒ってソファで泣いています。大人の対応としては、そのまま諦めるのを待っていますが、それでも諦めず、台所まで探しに来ることもあります。食べ過ぎると良くないし、保育園で他人のを取ってしまうのも心配です。

38

事例④

毎朝着替えをするのですが、どうしても着替えたくないようで大泣きして暴れてしまいます。本人なりの着替える時間があるようで、例えばお風呂上りなどはスムーズに服を着ることができているのですが、朝になるとどうしても難しいです。最終的に格闘しながら無理矢理朝の着替えをしている状況なのですが、どのようにしたらよいでしょうか。

39

最後に・・・

行動問題への対処の難しさ

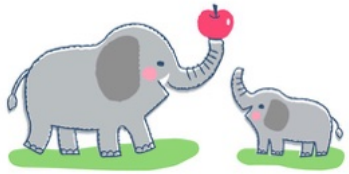
- ✓「行動Aへの正しい対処は対処Bである」というマニュアルがあるわけではない
- ✓ある対処をしてみて、困った行動が減少し、望ましい方向へ変化すれば、対処は適切だったと分かる
- ✓きちんと対処後の問題行動の変化を追い、分析を怠らないことが重要

40

40

ご清聴ありがとうございました！

ぜひお気軽にご質問ください！



41